

# 子育てに悩んでいませんか？

子どもの心によりそって



楽しい子育てをしましょう



## 千差万別の子育て 子どもとともに親も成長します

新しい命が生まれ、その命は大切に守られ育て上げられていく。『過去無量のいのちのバトンを受け継いで今ここに自分の番を生きている』。相田みつを氏の作品の中に「自分の番いのちのバトン」という詩があります。

その命を私たちは立派に育てていかなければなりません。しかし、そのための参考書があるわけでもなく、一冊の育児書にすべての答えがあるわけでもありません。まさしく千差万別の子育てが始まっていきます。その日々戸惑い、悩むこともあるでしょう。でも焦ったり、一人で抱え込んだりしないでください。いろいろな機関を利用し、子育ての先輩からアドバイスをもらって、子どもと共に成長して、本当の「親」になっていけばいいと思うのです。教育育み(教育)、共に育ち(共育)そして「親」になっていくのです。まずそのために“子どもの発達段階”とあわせて、子育てのヒントを紹介したいと思います。



## 子どもの発達段階と子育てのヒント

### 1 乳幼児期 0～1歳 スキンシップと優しい声かけが大切です



乳幼児期の子どもは、運動能力は未熟で、まだ泣くことしかできません。例えばおむつがぬれているとか、ミルクが飲みたいとかを発信しているわけです。でも、その泣き声を聞くとイライラしてしまうことがありますね。そんなときは、その泣き声を、言葉だと思って聴くようにしてみましよう。そして、その泣き声にやさしく答えかけてください。赤ちゃんでも、しっかりその声を聴き分けています。

目 録																			

## 地域でも子育てを “元気でがんばっているか？”の 声かけこそが「地域での見守り活動」です

周りの人との関わり「信頼関係」が、家庭という一番小さな社会から、「友だち」「先生」へとつながり、それが「近所のおじさん、おばさん」へと広がっていくといいですね。小さい頃から近所の人々が、“おはよう”と声をかけてくれたり、自分のことを応援してくれたり、しかってくれたりする。



そして“元気で頑張っているか？”の声かけがいつの間にか励みになります。これこそが「地域での見守り活動」となるわけです。“子どもの頃から見ていよう”の一言が本当の意味の見守りなのです。これは、何も難しいことではないのです。

最後に「一人一人を大切に育てる」ということは、その「一人一人の違いを認めていく」ということであり、それこそが子育ての基本であることを忘れないようにしましょう。

命の重みを感じ、何よりかけがえのない存在であることを互いに感じながら、一人一人の個性・能力を正しく理解し、発達段階に応じて“その子らしさ”を伸ばしていくことこそが真の子育てであり、その充実・発展のために「家庭・地域・学校」の連携がより一層図られていくことを心から願っています。

★発行にあたって この冊子は市民のみなさんに人権について正しく理解していただくために作成しました。家庭や地域・職場などの話し合いや人権学習の資料として、ご活用願えば幸いです。

著者紹介 濱田 英世 (はまだ ひでよ) 尼崎市教育委員会 教育委員長  
 子育てサークル やんちゃんこ  
 つどいの広場 わいわいステーション 代表

### 子育てに悩んだときは、次の窓口に相談してください。

- 赤ちゃんテレホン相談 (育児や予防接種のことなど)
- 中央地域保健担当 6411-8585
  - 小田地域保健担当 6401-8181
  - 大庄地域保健担当 6418-8181
  - 立花地域保健担当 6427-8181
  - 武庫地域保健担当 6432-8181
  - 園田地域保健担当 6492-8181
- 尼崎市立すこやかプラザ (遊びの指導や子育ての悩み) 6418-3463
- 尼崎市教育委員会事務局 教育総合センター「教育相談担当」  
 (4歳から18歳までの子どもに関する相談  
 不登校、友だち関係、学習や進路など) 6423-2550 (面接相談)  
 6429-7564 (電話相談)